

平成28年度

第1回外部評価委員会



育む ～実り豊かな「農」と「人」～

平成28年5月30日（月）

大分県立農業大学校

## 次 第

- 1 開 会
- 2 外部評価委員委嘱、紹介
- 3 学校長あいさつ
- 4 本校職員紹介
- 5 大分県立農業大学校評価制度について
- 6 議 事 (進行：委員長)
  - (1) 報告事項  
平成27年度重点目標等の取り組み結果について
  - (2) 審議事項  
平成28年度運営方針を踏まえた数値目標と主な対策について
  - (3) その他  
創立50周年記念事業について
- 7 閉 会  
  
諸連絡

# 大分県立農業大学校評価制度について

## 大分県立農業大学校 学校評価要領

平成 23 年 7 月 1 日 制定

### (目 的)

第 1 条 この要領は県農業の担い手育成のために求められる質の高い教育を提供するとともに、地域に根ざした開かれた大学校づくりを推進するため、学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)に基づき、大分県立農業大学校(以下「農大」という。)が行う学校評価について定める。

### (自己評価)

第 2 条 農大校長は、教育・研修活動その他学校運営の改善を図るため、毎年度重点目標を定め、その達成に必要な評価項目などを設定の上、運営の状況等についての評価(以下「自己評価」という。)を行う。

2 自己評価を実施するため、別紙 1 に定める学内評価会議を設置する。

### (外部評価委員会等)

第 3 条 農大が実施した自己評価の結果を踏まえた評価(以下「外部評価」という。)を行うため、農業大学校外部評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

2 委員会は、校長が委嘱する別表 1 の委員で構成する。

3 委員の任期は 2 年とし、再任は妨げない。委員に欠員が生じたときは、これを補充することができることとし、その任期は前任者の残任期間とする。

4 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員が互選する。

5 委員長は委員会を掌理し、副委員長は委員長に事故ある場合はその職務を代理する。

6 農大校長は、外部評価等のため農大の運営・教育・研修の状況、自己評価の結果などについて委員会に報告する。

7 委員会は、外部評価の結果を学校運営に関する意見とともに農大校長に報告をする。

8 農大校長は、委員会からの報告をもとに必要な措置を講ずる。

### (公 表)

第 4 条 農大校長は、自己評価の結果及び外部評価の結果並びに意見について、農大のホームページなどに公表するとともに、大分県農林水産部農山漁村・担い手支援課に報告する。

### (その他)

第 5 条 自己評価の実施方法その他学校評価に関することは、農大校長が別に定める。

別表1 農業大学校外部評価委員

区 分	関係機関名	職 名
教育関係者	大分県高等学校 教育研究会農業部会	部 会 長
生 産 者	大分県指導農業士会	会 長
〃	大分県農業法人協会	会 長
〃	地元女性農業者	
卒 業 生	大分県立農業大学校同窓会	副 会 長
農業団体	大分県農業協同組合	常務(営農担当)
行 政	豊後大野市	農業振興課長
〃	大分県	中部振興局生産流通部長

平成23年 7月 1日 制定

平成24年 4月 1日 改正

別紙 1 学内評価会議

大分県立農業大学校 学内評価会議実施要領

平成 23 年 7 月 1 日制定

- 1 学校評価の実施や評価結果の分析、課題の検討などに関することを協議するため、農業大学校に学内評価会議を設置する。
- 2 学内評価会議は、指導職員で構成し、校長を議長とする。
- 3 校長は必要に応じ、評価結果の周知や意見交換のため、全職員を対象とした会議を開催する。
- 4 重点目標や評価項目、指標等は、校長が学内評価会議の意見を聞き、年度初めまでに定める。

参考 学校評価制度実施の根拠法令等

・平成 19 年 6 月：学校教育法改正

○第 42 条

小学校は、文部科学大臣の定めるところにより当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずることにより、その教育水準の向上に努めなければならない。

○第 43 条

小学校は、当該小学校に関する保護者及び地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を積極的に提供するものとする。

※これらの規定は、幼稚園（第 28 条）、中学校（第 49 条）、高等学校（第 62 条）、中等教育学校（第 70 条）、特別支援学校（第 82 条）、専修学校（第 133 条）及び各種学校（第 134 条第 2 項）に、それぞれ準用する。

学校教育法施行規則(学校評価関係)：平成 19 年 10 月

○第 66 条（自己評価の実施・公表）

小学校は、当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況について、自ら評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 前項の評価を行うに当たっては、小学校は、その実情に応じ、適切な項目を設定して行うものとする。

○第 67 条（保護者など学校関係者による評価の実施・公表）

小学校は、前条第 1 項の規定による評価の結果を踏まえた当該小学校の児童の保護者その他の当該小学校の関係者（当該小学校の職員を除く。）による評価を行い、その結果を公表するよう努めるものとする。

○第 68 条（評価結果の設置者への報告）

小学校は、第 66 条第 1 項の規定による評価の結果及び前条の規定により評価を行った場合はその結果を、当該小学校の設置者に報告するものとする。

※これらの規定は、幼稚園（第 39 条）、中学校（第 79 条）、高等学校（第 104 条）、中等教育学校（第 113 条）、特別支援学校（第 135 条）、専修学校（第 189 条）、各種学校（第 190 条）に、それぞれ準用する。

学校評価スケジュール

月	学内評価会議	外部評価委員会
4	○当年度目標の共有 *当年度活動計画等	
5		○第1回委員会 *当年度組織運営説明 *当年度重点目標説明
1 2	(学生アンケート等)	
2	○当年度重点目標等に対する達成状況の検証 *分析・とりまとめ *次年度目標検討	
3		○第2回委員会 *重点目標に対する評価
		公表 報告
	(次年度目標の設定)	

\*公表：農大HP等

\*報告：県農林水産部農山漁村・担い手支援課

## 平成27年度 重点目標と具体的取り組み結果について

### 運営方針1 活気あふれる学園づくり

【数値目標】 基礎学力を備えた入学生の確保：60名

評価：目標をほぼ達成 合格者46名(44名入学) 農業系学科31名

#### 1 平成28年度入学試験実施状況と合格者数

##### (1) 推薦入試と一般入試

	実施日	受験者数	合格者数	( ) 内は女子
推薦入試	10/28	47名(15名)	43名(15名)	
一般入試	1/13	3名(1名)	3名(1名)	
計		50名(16名)	46名(16名)	

##### (2) 過去5年間の受験者数と入学者数

年度	H24	H25	H26	H27	H28
受験者数	58名	49名	69名	54名	50名
入学者数	53名	41名	56名	53名	44名

##### (3) 過去5年間の農業系学科出身者の入学者数

年度	H24	H25	H26	H27	H28
農業系学科出身	29名	19名	27名	30名	31名
対入学者比(%)	54.7	46.3	48.2	56.7	67.4

#### 2 高校の進路指導への要請活動強化

##### (1) 県内全高校の訪問活動

第1回目(公立46校・私立14校・通信制4校 計64校)

県内高校3年生全員に農大紹介リーフレット配布。進路ガイダンス要請。

第2回目(64校)、第3回目(64校)、第4回目(7校)

※5月より進路コーディネーターを配置、高校46校へ訪問、同行。

##### (2) 進路ガイダンスへの参加

公立7校12回、私立2校、地区4(大分3回、中津、別府、日田)計16回実施。

##### (3) 出前農大「先輩や教授が農大を語る会」

公立高校8校8回実施、農業系7校、普通科系1校

##### (4) オープンキャンパスへの参加者の拡大

第1回目(6/27) 53名(昨年36名)

第2回目(8/4) 35名(昨年38名) 計88名(昨年74名)

保護者：第1回25名、第2回24名 計49名(昨年44名)

(5) 県外高校への情報発信

在学生 1年生4名、2年生1名を含め、卒業生の出身校にオープンキャンパス案内、学生募集要項等を送付。

3 効果的な情報発信

(1) ホームページの適時更新と充実

5 1回更新

(2) マスコミ掲載等

新聞掲載記事4月以降18回、テレビ放送1回、ラジオ1回

(3) 県下CATVへの取材(豊後大野市6回)

(4) 農大出前販売実施

1 1回実施:大分市わくわく館 3回 7/30、9/7、11/26

豊後大野市三重町わくわく昼市 6回 7/18、8/15、10/17、11/21、12/19、  
1/16

犬飼町川の港祭り 1回 7/5

赤十字献血ふれあい広場 1回 12/13

## 運営方針2 質の高い教育の提供

【数値目標】 全国大会出場 1名 1課題以上

評価：目標を完全に達成 全国農業大学校プロジェクト・意見発表会 2名出場  
プロジェクト優良賞、意見発表特別賞

### 1 プロジェクト研究の高度化

#### (1) 農林水産研究指導センター・振興局との連携によるプロジェクト研究活動

○1年生プロジェクト連携課題 37課題、

水田：12課題 野菜：9課題 花き：3課題 果樹：8課題 畜産：5課題

○2年生プロジェクト課題の指導の徹底（連携課題 30課題）

水田：9課題 野菜：5課題 花き：4課題 果樹：7課題 畜産：5課題

○研究成果の情報発信

- ・「センチピートグラスによる畦畔管理」(豊後大野市集落営農法人)
- ・「甘ねぎの品種比較試験結果報告」(全農・県農協、種苗会社、普及員)
- ・「大豆の連作障害対策」(豊肥振興局農山村振興部)
- ・「ハウスミカンの垣根仕立て(県柑橘研究会)
- ・「牛白血病対策」(市町村・農協・振興局・家畜保健所)

#### (2) 平成27年度九州農業大学校等プロジェクト・意見発表会出場

○プロジェクト発表

「ブドウ特選品『大分シャインマスカット selsct』生産技術による収益性向上対策」  
総合農産科果樹コース 2年男子

「牛白血病フリー農場を目指して」 総合畜産科 2年男子

○意見発表 「牛飼いへの想いを現実に」 総合畜産科 1年男子

#### (3) 平成27年度全国農業大学校等プロジェクト・意見発表会出場

○プロジェクト発表

「ブドウ特選品『大分シャインマスカット selsct』生産技術による収益性向上対策」  
総合農産科果樹コース 2年男子

○意見発表 「牛飼いへの想いを現実に」 総合畜産科 1年男子

#### (4) ヤンマー学生懸賞論文・作文に応募、内2課題入賞

論文の部：「新規就農者の離農を減らしたい！」

～「農業コンシェルジュ」が農業の実態をご案内～

総合農産科果樹コース 2年女子

作文の部：「日本の農業を支えるために」 総合農産科水田普通作コース 1年男子

#### (5) その他大会等

○第53回技能五輪全国大会 フラワー装飾 県代表として1名出場

総合農産科花きコース 2年女子

○第24回大分県フラワー装飾デザインコンテスト入賞(OAB賞)

○第45回大分県技能祭フラワー装飾の部 6位入賞

総合農産科花きコース 2年女子

○第7回めじろんカップ(学生フラワーデザインコンテスト)入賞

総合農産科花きコース4名

(うち1年 1位 知事賞獲得)

(6) 高大連携プロジェクトの実施

三重総合高校との連携モデル事業(授業5回、課題研究3回、実習8回)

(7) 大分大学との連携の実施

大分大学経済学部地域システム学科山浦准教授「総合経営特別講座農村社会学」における大分大学学生との交流

2 4年制大学編入学の実現

愛媛大学に1名が合格

3 農業法人等の期待に応えられる学生の育成

(1) 農業数学、基礎数学の充実

農業数学:2年生6名、1年生22名 基礎数学:1年生29名

基礎数学は専門講師を配置

(2) 総合経営特別講座の実施 ⇒2年生12名受講

特別科目:企業経営論、アグリビジネス論、消費者ニーズとマーケティング、農業簿記、農業経営分析、農村社会学、研修(先進農家、市場流通)

(3) 農業機械応用実習(2年選択)の実施

小型管理機、動力噴霧機、トラクター(ロータリー耕)

(4) GAP・ICTを活用した農場管理

・JGAP公開講座の実施(7回)

・ICT講座(2回)

・花き、果樹コースの環境制御型ハウスの建設

(5) 日本農業技術検定の合格者の向上 [ ]内はH26年度

1級合格0名[1名] 2級合格1名[7名] 3級合格11名[9名]

(6) 主な資格取得等(2年54名)

大型特殊(農耕車限定)49名(91%)

けん引(農耕車限定)40名(74%)

フォークリフト技能講習31名(57%)

ガス溶接技能講習41名(76%)

## 運営方針 3 新規就農者の確保

【数値目標】 全学生・研修生の進路決定、就農率80%以上の確保

評価：目標をほぼ達成 進路内定率87.2%(最終内定率96.2%)  
就農率62.8%(最終就農率70.8%)

### 1 進路状況

#### (1) 進路状況 (H28.3.31 現在)

	対象者	決定内定	内就農						内定率 (%)	就農率 (%)
			自営	法人	団体	研修	兼業	計		
学 生	55	55	7	24	3	2	6	42	100.0	76.4
研修生	24	21	7	4	0	3	-	14	62.5	58.3
計	79	76	14	14	3	5	6	56	96.2	70.8

#### (2) 農学部過去5年間の就農率 (%)

年度	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6
就農人数	28	33	34	35	31
就農率	70.0	70.0	83.0	79.6	79.5

### 2 農学部2年生への濃密支援及び進路先の開拓：進路コーディネーターの活用

#### (1) 農業法人との就職相談会を開催 7/7

参加法人数 H27：34社 H26：27社 H25：24社

※参加法人数の増加により、H28は5/18にブース形式で実施(40社予定)

#### (2) 農業法人等との情報交換 随時 29法人

8/26 力の源カンパニー（一風堂）、くしふるの大地、大分県との協定締結  
→人材育成、特に社会性醸成に向けた研修の強化

#### (3) 卒業生（過去3年）フォローアップ指導 25法人

#### (4) 学生進路面談の実施及び意識付け 随時 進路コーディネーター

2年対象 5/28 就職ガイダンス 2/17 社会人心構え講座

1年対象 12/9 進路ガイダンス

#### (5) インターンシップ研修の参加促進

11法人（千葉県、山梨県、大分市、豊後大野市、竹田市、玖珠町、宇佐市）33名  
就職希望農業法人への訪問、実習、アルバイトの促進

### 3 就農準備研修生の就農確保

#### (1) 振興局・関係団体との連携会の開催 5回 4/9 6/11 7/9 9/28 11/26

#### (2) 法人等農家研修 5品目 6農家

イチゴ 5/25 12/3 ピーマン 6/25 トマト 9/2

小ねぎ・白ねぎ 11/10 青果市場 10/22

(3) 農業法人との就職相談会 3会場 延べ25名参加

6/27 農業法人等合同就職説明会(大分市) 5名

7/7 農業法人との就職相談会(農大) 13名

7/19 おおいた新規就農セミナー・相談会(大分市) 7名

(4) 就農体験セミナーの実施 今年度新規3回開催予定

8/8~8/9 10/7~11/19 延べ8名→内3名が就農準備研修を受講希望

(5) 随時コースの実施 7/9~10/8 1名、9/1~(11/30)9/30 1名

4 通信講座による就農への関心度向上

通信講座入門コース受講者の中級者コースへの誘導 2名/13名中

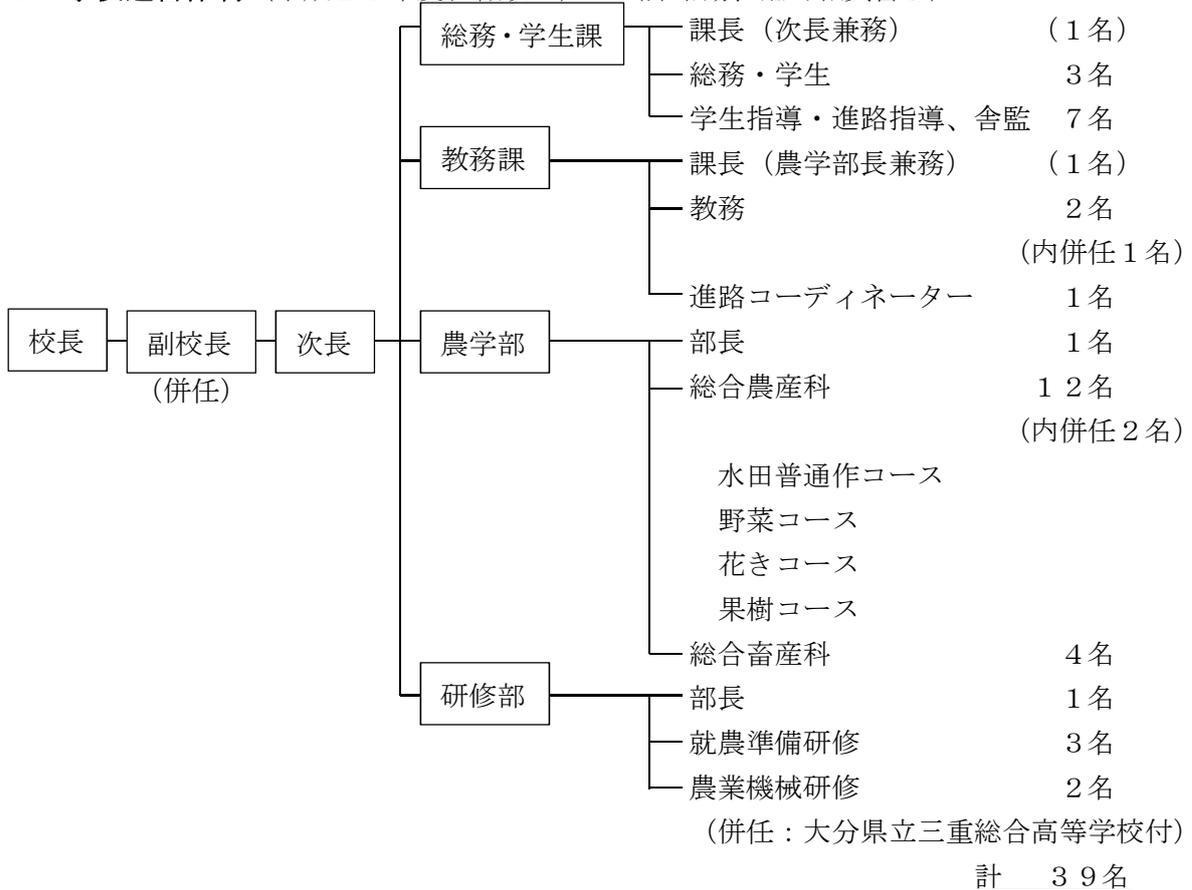
通信講座受講者から就農体験セミナー参加者 2名

# 平成28年度 大分県立農業大学の概要

## 【農大の使命】大分県農業・農村の将来を担う人材の育成

- ・ 農業者研修教育施設（農業改良助長法）
- ・ 専修学校（学校教育法）
- ・ 短期大学卒業相当（人事院規則）

### 1 学校運営体制（平成28年度組織改正）（非常勤、臨時職員含む）



### 2 農学部 学生の状況

#### (1) 在校生の内訳

単位：名

学 科	総合農産科				総 合 畜産科	合 計
	水田・野菜		花き	果樹		
コース (クラス)	(水田・露地野菜)	(野菜)				
1 年	15	15	5	6	4	45

学 科	総合農産科				総 合 畜産科	合 計
	水田普通作	野 菜	花 き	果 樹		
2年	15	15	5	12	4	51

計	30	30	10	18	8	96
---	----	----	----	----	---	----

※ 農業系学科出身者 63% : 1年 31名(69%)、2年 29名(57%)  
 非農家出身者 73% : 1年 35名(80%)、2年 35名(69%)  
 県外出身者 6% : 1年 2名(4%)、2年 4名(8%)

(2) 入学者数の推移

単位：名

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
受験者数	39	53	51	58	50	69	54	50
入学者数	35	49	46	53	41	56	53	44

(3) 卒業生の進路

単位：名、%

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
卒業生数	34	34	40	47	41	44	39	55
就農者数	13	17	28	33	34	35	31	42
- 自営	8	4	8	8	7	4	4	7
- 法人	3	11	18	22	25	30	27	27
- 研修	2	2	2	3	2	1	0	2
- 兼業	-	-	-	-	-	-	-	6
就農率(%)	38.2	50.0	70.0	70.2	82.9	79.6	79.5	76.4

※23年度までは卒業生数に専攻科学生を含む

3 研修部 研修生の状況

(1) 研修生の内訳

単位：名

研修	就農準備研修				通信講座	
	長期	中期	随時	計	入門	中級者
期間	11カ月	8カ月	3カ月			3カ月
H27	13	9	2	24	13	7

コース	長期		中期	随時	計	野菜	病害虫
	野菜	畜産					
H28	13	0	募集中	募集中	13	6	9月～

(2) 就農研修者数の推移

単位：名

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
就農準備研修	22	14	13	25	28	25	24	13
テストファーム	2	3	6	1	3			
計	24	17	19	26	31	25	24	13

※H28は長期コースのみ



## 平成28年度 運営方針・数値目標・主な対策

### 運営方針1 活気あふれる学園づくり

【数値目標】基礎学力を備えた入学生の確保：60名

《主な対策》

- 1 高校の進路選択(指導)への積極的な働きかけ
  - (1) 県内高校への訪問と農大への進学への働きかけ
    - ①県内全高校(公立44校 私立14校 通信制4校 計62校)への訪問
    - ②高校への出前農大  
7校(国東、日出総合、大分東、佐伯豊南、三重総合、宇佐産業、安心院)
    - ③高校PTAでの保護者説明
  - (2) オープンキャンパス「緑の学園」への参加者拡大 生徒80名以上
  - (3) 農大生による出前農大(4校)
  - (4) 進路ガイダンス(4高校・5地区)への参加

### 運営方針2 質の高い教育の提供

【数値目標】全国農業大学校等プロジェクト発表大会出場 1名1課題以上

(※九州大会上位2名が全国大会へ出場)

日本農業技術検定 3級以上取得者 80%以上

《主な対策》

- 1 プロジェクト研究の高度化と地域課題への対応
  - (1) 農林水産研究指導センター・振興局との連携プロジェクトの充実強化
  - (2) 九州大会・全国大会出場を目指したプロジェクト指導の徹底
  - (3) 研究成果の積極的な情報発信
- 2 農業法人等の期待に応えられる学生の育成
  - (1) 農業・農村のリーダー・指導者の育成を目指した「総合経営特別講座」の実施
  - (2) 大分大学との連携プロジェクトの推進
  - (3) 日本農業技術検定試験の推進及び試験対策指導の徹底

## 運営方針 3 新規就農者の確保

【数値目標】 全学生・研修生の進路決定と就農率 80%以上

《主な対策》

- 1 農業法人等との就職相談会の開催
- 2 農学部 2 年生への濃密支援と進路先の開拓
  - (1) 農業法人等との情報交換、情報提供 随時
  - (2) 卒業生(過去 3 年)フォローアップ指導
  - (3) 学生進路面談の実施及び意識付け
  - (4) インターンシップ研修の参加促進
  - (5) 保護者の就農理解促進
- 3 研修生の確保及び就農率の向上
  - (1) 振興局・関係団体との連携会の開催
  - (2) 就農セミナー開催及び就農準備研修への誘導
  - (3) アクティブシニア研修の開催

【農業法人等との就職相談会】※実施済み

- 日 時：平成 28 年 5 月 18 日(水) 13:00~16:00
- 場 所：本校体育館
- 参加者：本校 2 年生 47 名、研修生 12 名  
法人 42 社
- 方 法：1 回 20 分、1 名当たり 6 ブースを回り面談



## 創立50周年記念事業について

### (1) 50周年記念関係行事日程・会場

○期日：平成28年11月12日(土)、13日(日)

○場所：農業大学校キャンパス、エイトピアおおの、ホテルますの井

○内容：①農大祭 11月12日(土) 10:00～ 農大キャンパス

※共催行事(学生会企画運営)

②記念式典 11月13日(日) 14:00～ (受付13:00～)

エイトピアおおの小ホール

③記念講演会 11月13日(日) 15:00～

エイトピアおおの小ホール

④記念祝賀会 11月13日(日) 17:30～ ホテルますの井

### (2) 記念事業

○記念誌の作成

○同窓会名簿の作成

○記念品(クリアファイル)の作成

○「創立50周年記念酒」の製造・販売

・豊後大野市緒方町の浜嶋酒造と協定を締結。

・農大産の酒米を使い記念酒を製造・販売。

・販売は平成28年度の冬。

・ラベルデザインの募集(学生予定)